

履歴書

2012 年 3 月 15 日現在



ふりがな		うえつき あやこ	
氏 名			
植月 綾子			
出身地		年齢	※
岡山県津山市		(満 23 歳)	男 ・ 女
参加した NICE ボランティア		分野	
国際ワークキャンプ		教育、国際交流	
場所	マレーシア・クラン		満足度
(国・市町村まで記入)	ネパール・カトマンズ、カイラハニ		
受け入れ団体	NICE (日本国際ワークキャンプセンター)		活動のやりがい度
	MOVE (マレーシア)、NIFC (ネパール)		90%

こんなボランティアでした
マレーシア：地方の養護学校での授業補佐。各教科の先生に 1 人ずつ付いて教室を回った。
ネパール：学生団体スマイルプロジェクトの活動の一環。現地の小学校にサッカーボールを届け、フットサル大会をはじめとする文化交流などを行った。

年齢	経歴
18 歳	お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科 入学
20 歳	国際ワークキャンプ (マレーシア) 参加。帰国後は奉仕の活動に参加。
	学生団体スマイルプロジェクトのメンバーになる。
21 歳	国際ワークキャンプ (ネパール) 参加。帰国後は NICE 写真展に参加。
22 歳	株式会社アイデアインターナショナル 入社
趣味・特技	イラスト・似顔絵、剣道三段、おしゃれカフェ探し
座右の銘	人生一度きり♡
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
特になし	

記入上の注意 1：鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2：数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。
3：※印のところは、該当するものを○で囲む。

志望動機
大学入学とともに上京した頃から、漠然と「海外に行ってみたいなあ」という思いはありました。
しかしせっかくなら旅行以上の経験をしたかったので、国際ワークキャンプというものを知ってからいくつか説明会に参加するうちに出会ったのがNICEです。
でも本当の意味で決定打となったのは、ある友人との出会いでした。学部で知り合った彼女は、留学等の海外経験が豊富でかつバイタリティに溢れ、当時の私にはとてもキラキラして見えかったです。
そうになりたいという憧れもあり、ほどなくして2人そろってNICE入会を決めました。

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）
私にとって初めての海外がマレーシアとなったわけですが、不思議なことに不安はほぼありませんでした。
日本人の多いNICE主催ワークだったこともあるかもしれませんが、むしろワクワク感の方が勝っていて、今考えてもびっくりするくらいです。ただ治安対策として、ショルダーバッグや首かけ型の財布を用意し貴重品を肌身離さず携帯できるようにだけはしていました。

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した！）
私の場合、説得が必要なほど反対はされていません。現地で勉強してくる、単なる旅行ではない、ということ強調して伝えたので、むしろ快く送り出してもらえました。
しかし実は、地元にいる両親に参加の相談をしたときには既に申込みは完了させていました（笑）

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）
振り返ると、ワークキャンプを通して仕事観や人生観に大きく影響した出会いが3つあったように思います。
◆『 現地の価値観との出会い 』今まで日本で感じていた幸せと、現地の方の考える幸せが全く異なることに衝撃を受け、もっと違う視点も持ち併せたいと強く思いました。まさに“日本の常識、世界の非常識”を実感。
◆『 魅力的な友人との出会い 』私に大学名の肩書きがあっても、自分よりはるかに中身の優れた学生は数多く存在するということを再認識し、様々な人に会うべく学外の活動に力を入れていました。
◆『 自分自身との出会い 』肩書きや経歴を取っ払ったときに残る自分自身、ここに価値がないと無意味だと考えたため、自分の進む道を定めてあえて中小企業への就職を決めました。日々楽しく精進中です♪

成長ダイアグラム ※	これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪
	<p>国際ワークキャンプは、いろんな要素がぎゅっと詰まった『チャンス』です。ボランティアに興味がある、海外に行ってみたい、いろんな友達を作りたい、など切り口は何でもオッケーだと思います。</p> <p>普段と違う環境から学べることは非常に多いです。ひとつ経験上言えることは、完全に「案ずるより産むが易し」！まずは軽い気持ちで踏み込んでみてはいかがでしょうか。</p>

※成長ダイアグラム（5＝とても得るものがあつた・良くなった。4＝まあまあ得るものがあつた・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）